- 1 単元名 当事者として政治を見つめる ～政策の立案と議員さんとの交流から～
- 2 単元設定の背景

教材観

当事者性について、岡田泰孝（2019）は「自分が『当事者』と考えた人々への影響を考え判断する際に、単に個人的な利益だけでなく様々な立場の人々の状況を考えていることが『当事者性』が高い状態である」と述べている。政治を学ぶ上でこの「当事者性」を育むことは、自分や身の回りの人々の困り事を出発点に、社会の仕組みに関心をもつ姿勢につながる。今回は、政策の立案に重きを置く。政策とは、「①政府、政党、団体または個人が公共的な問題について、とるべき方向や態度。方針。②目的を遂行するための実行手段」（日本国語大辞典）とされ、その立案には「1 アジェンダ設定→2 課題設定→3 政策案の策定→4 意思決定・実行→5 評価・改善」（経済産業省 JAPAN+D）といった手順がある。本単元では、子供達自身が感じている身近な困り感や自分を取り巻く人々の身近な課題を考え、それに対する解決策を「政策」として具体化する活動を行う。こうした政策立案の活動を体験することで、子供達は自分達の声を社会に届ける模擬経験をすることで、当事者性を高める一歩となる。また、ここでは子供達の生活に最も近い政治機関である市町議会に焦点を当てる。市町議会は、国会や県議会に比べて地域に根ざした議論が行われており、子供達の身の回りの課題と直結する政策が扱われる場である。市町議会を学習対象とすることで、政治が身近なものだと捉えやすくなる。このように、政策の立案と身近な市町議会を題材とした本教材は、子供達が政治を自分との関係で捉える力を育み、当事者として社会を見つめるきっかけを生み出すものであると考える。さらに、自ら社会に関わろうとする姿勢を育てることで、社会科の目指す目標に迫ることができる教材であると考えられる。

児童観

本学級の子供達に政治についてのイメージを聞くと、「地域の代表者が勝手にやっている」「あまり進んでいない」「政治がそもそも分からない」「意外と近くて遠い存在」といった様々な意見が見られた。政治に関するアンケートでは「国や地方の政治についてどの程度関心を持っていますか？」の質問に肯定的な回答が29.0%、否定的な回答が54.8%、分からないが16.1%であり、「現在の政治に対してどの程度満足していますか？」では、肯定的な回答が16.1%、否定的な回答が41.9%、分からないが41.9%であった。また、「政治に関する情報を主に何から得ていますか？」の質問に、テレビ71.0%、新聞3.2%、インターネット12.9%と、多くの子供が各種のメディアを通して政治に関する情報に触れていることが分かった。

集団観

お互いの良さや違いを理解し、それを認め合うことによって共に高め合おうとする学級集団を育てる。本学級は学習意欲の高い児童が多いのが実態である。しかし、主体的に学ぶことのできる子供がいる一方で、他者から課題を与えられないと学習を始められない子供もいる。その原因として自分の意見・考えへの自信の無さだと考える。今回の子供自身が政策を立案する学習する過程において、政策案に対する自分の思い（困り感や希望、他者への影響など）を込めることで、市町議会議員に提案したり、意見交流したりする活動において、自信をもって意見・考えを表現できる集団を育成する。

指導観

指導にあたり3点に留意する。1点目が「子供目線での政策の具体化」。本単元では、「自分自身や自分を取り巻く人々の身近な困り感」という視点で政策の立案を図る。政策を子供目線での政策の具体化を図ることで当事者性の向上を目指す。2点目が「為政者との出会い」。政治との心理的な距離を近づけるため、8名の市町議会議員を招聘し、小グループでの政策の提案や意見交流ができるような環境設定を行い、政策を媒介とした双方向的な関わりの場を設ける。3点目が「自伸会（児童会）活動とのつながり」。本単元で学んだ政策を立案する経験を11月の自伸会選挙で5年生が立候補者として公約を立てる際に活用を図ることに繋げていく。

3 単元の目標及び計画（全8時間）

■単元の目標

子供達自身で政策を立案し、市町議会議員への提案や意見交流を通して、市民の声を聴き、みんなで決めて、みんなで守るといふ政治のしくみを理解するとともに、政治に関わろうとする姿勢が自分を取り巻く生活の安定と向上につながっていることを実感することができるようにする。

■単元の計画

第1次 自分自身や自分の周りの身近な人々の日常生活の困り感から、政策を立案しよう。・・・4時間

第2次 市町議会議員の方との意見交流会をしよう。

（自分の考えた政策の発表・意見交流）・・・・・・・・・・3時間（本時）

第3次 政策を立案する時のポイントをまとめよう。・・・・・・・・1時間

4 単元の評価規準

保育・教科部 社会①

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
政策の立案に向けて必要な資料を分析したり、読み取ったりすることを通して、市民の声を聴いたり、みんなで聞いて、みんなで守るといふ政治のしくみを理解している。	政策の立案に着目する中で、政策を立案する上で必要な情報とは何かについて考え、情報を基にどのような政策が必要なのかを適切に表現している。	政策の立案を構成するために、必要な情報を獲得したり、よりよい政策を試行錯誤したりするなど、主体的に問題の解決を図ることで、政治に関わろうとする姿勢が自分を取り巻く生活の安定と向上につながることを実感している。

5 本時の学習

- 目標 ①市町議会議員の方との出会いを通して政治に対する自身のイメージの変化や深まりを自覚することができる。
- ②自分自身や自分を取り巻く身近な人々の日常生活の困り感に対する政策を提案し、意見交流を図ることを通して、政策を立案する難しさや必要な視点を獲得することができる。

(1/3時)

■学習過程 ※(全)(小)(個):学習形態(全:全体の場 小:小集団 個:個人)㊦:留意点 ㊧:評価の観点(方法)

学習事項	児童・生徒の活動	教師の働きかけとねらい	集団
1. 学習課題への接近	(1) 市町議会議員と出会う。	(1) 市町議会議員本人と子供達の出会いの場面を温かな雰囲気に行き渡らせるようにコーディネートする。	(全) 全体で市町議会議員との精神的な距離を縮める。
2. 学習課題の設定	(2) 子供達の考える政治に対するイメージを確認し、本時の学習課題を設定する。 議事録の話を聞いて、自分の考える政治のイメージを確認しよう。	(2) 子供達がすでに持っている政治のイメージを確認し、それぞれの市町議会議員の話を聞いて確かめる時間にするのを全体で共有する。	(全) 学習課題を学習集団全員で解決しようとする意欲を高める。
3. 学習課題の追求 (個による考察)	(3) 議員の自己紹介と政治に対する思いなどを聴くとともに、自分自身の政治に対するイメージと比較する。(1回目)	(3) 市町議会議員との事前に打ち合わせをもとにしながら、子供達の政治に対するイメージをゆさぶるような、自己紹介、政治に対する思いなどを子供達に伝えてもらう。 ・1人7分程度(4人28分) ㊦子供達の政治に対するイメージの変化が生まれているのかに着目しながら、子供達の様子を見取り、個別、全体への声掛けを図る。	(個) 自分自身の政治に対するイメージと比較しながら聴く。

(2/3時)

■学習過程 ※(全)(小)(個):学習形態(全:全体の場 小:小集団 個:個人)㊦:留意点 ㊧:評価の観点(方法)

学習事項	児童・生徒の活動	教師の働きかけとねらい	集団
1. 学習課題の追求 (個による考察)	(3) 議員の自己紹介と政治に対する思いなどを聴くとともに、自分自身の政治に対するイメージと比較する。(2回目)	(3) 市町議会議員との事前に打ち合わせをもとにしながら、子供達の政治に対するイメージをゆさぶるような、自己紹介、政治に対する思いなどを子供達に伝えてもらう。 ・1人7分程度(4人28分) ㊦子供達の政治に対するイメージ	(個) 自分自身の政治に対するイメージと比較しながら聴く。

<p>(グループによる考察)</p> <p>(4) 政治に対するイメージの変化があったか、無かったかをグループで共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議員さんの話を聞いていると、みんなの困り事の解決のために働かれているんだなと思った。 ・みんなの代表者が議員さんだから、みんなの意見を聴いたり、探したりしているんだなと思った。 ・政治は自分とは程遠いものだと感じていたが、もしかすると身近な物なのかもしれないと感じた。 <p>(全体による考察)</p> <p>(5) 小グループで話し合ったことを全体で共有する。</p>	<p>の変化が生まれているのかに着目しながら、子供達の様子を見取り、個別、全体への声掛けを図る。</p> <p>(4) 小グループに分かれてイメージの変化があったか、無かったかをもとにしながら、それぞれの政治に対する思いを伝えさせる。</p> <p>(5) どんな意見が出たのかを発表させ、意見の共有を図る。</p>	<p>(小) 小グループで政治に対するイメージの変化があったか、無かったかを共有する。</p> <p>(全) どんな意見が出たのかを全体で共有する。</p>	
<p>4. 本時のまとめと次時への発展</p>	<p>(6) 本時の振り返りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日は市町議会議員の方と話をすることによって、これまで身近ではなかった政治の世界が少し身近に感じられるようになった。 ・政治とは関係のない自分達だと思っていたが、今からできることもあるのかもしれないと思えるようになった。 	<p>(6) 本時の学習課題を再度提示し、個人で課題に対する振り返りをフォームに入力させる。</p> <p>◎自身の政治のイメージがどのように変化したか、深まったかを考えられている。(フォーム)</p>	<p>(全) → (個) 学習課題に対しての自分の考えを、小グループや全体での話を参考にまとめる。</p>

(3/3時)

■学習過程 ※ (全) (小) (個) : 学習形態 (全: 全体の場 小: 小集団 個: 個人) ◎: 留意点 ⑩: 評価の観点 (方法)

学習事項	児童・生徒の活動	教師の働きかけとねらい	集団
1. 学習課題への接近	(1) 前時の振り返りを行うとともに、第一次の活動(自分自身や自分を取り巻く身近な人々の日常生活の困り感から、政策を立案しよう)を想起する。	(1) 前時の政治のイメージの変化や深まりとともに、子供達がこれまで行ってきた政策立案の活動を想起させる。	(全) これまでの活動の流れを確認する。
2. 学習課題の設定	(2) 本時の学習課題を確認する。 政策を提案するとともに、政策を立てる際の疑問を解決しよう。	(2) 自身の考えた政策を提案するとともに、政策立案の際に子供達から出てきた疑問を収集しておき、解決を図ることを確認する。	(全) 学習課題を学習集団全員で解決しようとする意欲を高める。
3. 学習課題の追求 (個による考察)	(3) これまで自分達で政策を考えていた際に、どんな視点で政策を考えようとしてきたかを確認する。	(3) 子供達自身によって、政策を考える際に視点としていたことを事前にまとめておき、必要な場合は補足する。	(全) 政策を考える際の既存知識について全体で確認し、本時終末

<p>(グループによる考察)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の声を聴くことが大事 ・データを活用することも必要 ・予算がどのくらいかかるのかを予想しなくてはいけない。 <p>(4) 各グループに分かれて、政策の提案を行う。</p> <p>〈自分自身の困り感〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校のルールについて… ・公共交通機関の使い方について ・前校庭の使い方について… ・地域の公園について… ・自分の将来の夢に関わって… <p>〈自分を取り巻く人々の困り感〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おばあちゃんが買い物に行きにくいから… ・広島県に遊園地がないから… ・三原をより有名にするために… 	<p>(4) それぞれのグループに分かれてスライドにまとめたものを市町議会議員に提案する。(スライドは自分の政策の売りをはっきり伝えられるように、定型化されたスライドも用意し、準備を行う。)</p>	<p>部での知識の変化に気付けるようにする。</p> <p>(小) 小グループでの提案を通じて、どのような政策を友達が考えているのかを共有する。</p>
<p>(グループによる考察)</p>	<p>(5) 自分たちの提案した政策に対する市町議会議員の話を聴き、政策を立案する上での必要な視点を見つける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで、ただ地域の声を聴けばいいと思っていたが、困っている人がいないか、不満を持っている人がいないかを自分から探す視点が必要だと気づいた。 ・データを見て分析する際は、様々な視点をもつことで、見えなかったものも見えるようになるのではないかと感じた。 <p>(6) 政策を考える際に出てきた質問や疑問を市町議会議員の方に聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えた政策は本当に実現できますか？ ・どのくらいの情報を集めて、政策を考えるのですか？ ・一つの政策を考える時に、どのくらいの時間をかけて作っているのですか？ 	<p>(5) 市町議会議員として子供達の政策に対する評価をしていた。</p> <p>㊦評価をしていただく際には、政策立案のプロとして、子供達の考えた政策の不足点(視点や裏付けとなる資料など)をもとに話していただけるようにする。</p> <p>(6) 子供達が政策を考えながら見つけた質問や疑問を事前にまとめておくとともに、自由に市町議会議員と話の出来る時間を設ける。</p>	<p>(小・個) 政策提案に対する評価をもらい、政策の良い所、改善した方がよい所を明らかにする。</p>
<p>4. 本時のまとめと次時への発展</p>	<p>(7) 本時の振り返りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町議会議員の方にアドバイスをもらえてうれしかった。 ・政策を作る上で、市町議会議員の方が気を付けてられていることが分かった。 	<p>(7) 本時の学習課題を再度提示し、個人で課題に対する振り返りを考えさせる。</p> <p>㊦次時に全員の振り返りを全体で共有し、自身の政策を再度見直すことを伝える。</p> <p>㊧政策立案に向けての新たな視</p>	<p>(全) → (個) 学習課題に対しての自分の考えを、小グループや全体での話し合いを参考にまとめる。</p>

		点を見つけられている。(発言・ フォーム)	
--	--	--------------------------	--